

保護者様

鹿嶋市立三笠小学校長 箕輪 直

令和3年度 第1回学校をよくするための保護者アンケート（7月実施）結果報告について

秋冷の候、保護者の皆様にはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。新学期が始まりましたが、新型コロナウイルス感染症の収束の兆しが見えておらず、予断が許さない状況が続いております。学校でも状況をみながらできる限りの対策をとって教育活動を進めているところです。保護者の皆様には、ご理解・ご協力をいただき感謝申し上げます。

さて、過日実施したアンケート結果をお知らせいたします。質問項目の1～7は本校のランドデザインに即し、8～17は鹿嶋市学校評価（保護者）の共通項目となっております。

「よい」・・・「そう思う」「まあまあそう思う」の合計 「改善」・・・「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計
 <結果欄> ◎・・・「よい」が95%以上 ○・・・「よい」が90%以上94%未満 ▼・・・「改善」が25%以上

		回答率 84.0%						結果
質問項目		そう思う	まあ そう思う	あまりそう 思わない	そう思わ ない	よい点	改善点	
グ ラ ン ド デ ザ イ ン	1 1 お子さんは、学校生活を楽しんでいる	340人	240人	24人	5人	95.2%	4.8%	◎
	2 2 お子さんは、毎日家庭学習（宿題・塾などを含む）をしている。（低学年30分、中学年45分、高学年60分）	226人	266人	94人	23人	80.8%	19.2%	
	3 3 お子さんは、本（学校での読書を含む）を読んでいる。	180人	225人	171人	33人	66.5%	33.5%	▼
	4 4 お子さんは、自分から挨拶をしている。	146人	262人	188人	13人	67.0%	33.0%	▼
	5 5 お子さんは、相手を考えた言葉遣いをしている。	121人	357人	123人	8人	78.5%	21.5%	
	6 6 お子さんは、時間やきまりを守っている。	145人	341人	106人	17人	79.8%	20.2%	
	7 7 お子さんは、友達と協力して生活している。	236人	330人	40人	3人	92.9%	7.1%	○
鹿 嶋 市 共 通 項 目	8 8 先生は、基礎的な学力が身に付くような分かりやすい授業をしている。	281人	289人	33人	6人	93.6%	6.4%	○
	9 9 先生は、児童の興味や意欲を高める授業を工夫している。	255人	301人	50人	3人	91.3%	8.7%	○
	10 10 学校は、子どもに応じた学習の手助けを行っている	204人	337人	60人	8人	88.8%	11.2%	
	11 11 学校は、児童一人一人を理解し、大切にしている。	213人	328人	57人	11人	88.8%	11.2%	
	12 12 学校は、いじめなどのない学校、学級、環境づくりに取り組んでいる。	180人	374人	47人	8人	91.0%	9.0%	○
	13 13 学校は、子どもに生命を大切にすることや、社会のルールを守る態度、郷土を理解する心を育てている。	201人	357人	48人	3人	91.6%	8.4%	○
	14 14 学校は、個別面談や教育相談が充実し、相談しやすい。	173人	327人	97人	12人	82.1%	17.9%	
	15 15 学校は、家庭や地域と積極的に連携・協力している。	173人	366人	60人	10人	88.5%	11.5%	
	16 16 学校は、便りやホームページ、その他の方法等で情報をよく発信している。	273人	289人	43人	4人	92.3%	7.7%	○
	17 17 学校は、子どもの安全確保や健康管理のための取組を十分行っている。	260人	315人	30人	4人	94.4%	5.6%	○

アンケートにご協力いただきありがとうございました。今回も昨年に引き続き、Web上（QRコード）でのアンケート回答をお願いしたところ、昨年度より90名上回る580名の方にWebでの回答をいただきました。紙媒体での回答を合わせると、回答率が84.0%となります。QRコードの配付についてを学年だよりやメール等でお知らせする等、たくさんの方にご回答いただけるよう、さらに工夫していききたいと思います。

アンケートの結果については、「読書」と「挨拶」が課題となっております。昨年から課題となっている部分ですので、今後も重点目標として根気強く取り組んでいきます。ご家庭でもご協力いただけますよう、よろしくお願いいたします。緊急事態宣言の中の新学期となり心配も多々ありますが、今後ともご支援・ご協力賜りますよう、よろしくお願いいたします。



良い点・継続してほしいこと

- 子供の様子によく目を配っていただき、子供が安心して学校に行っています。今後ともよろしくお願いいたします。
- いつもありがとうございます。
- 学校が楽しいと思える工夫をしていただき、いつもありがとうございます。先生方のご尽力に感謝いたします。
- いつもお世話になっております。息子は家ではいつも学校であった出来事をうさいくらい楽しそうに話します。こうして学校に行けるのも先生方のおかげです。コロナ禍ですが、常に教育活動に工夫をしてくださって感謝しています。ご無理のない範囲で、今後ともよろしくお願いいたします。
- 一学期の授業ありがとうございました。コロナの中、安全な学校生活をご尽力頂き有難うございます。先生が好きで学校に行くことが楽しそうで勉強も頑張っているようです。二学期以降もよろしくお願いいたします。
- 子供がクロムブックをよく利用しています。先生がつぎつぎと新しいものを、子供たちに示してくださっているからだと思います。ありがとうございます。
- 保護者に気をつかえず、必要な指導を遠慮なく行って下さい。
- いつもきめ細やかな配慮をしていただきありがとうございます。
- 前回、高学年の健康健診の件で記入させていただきました。ご対応ありがとうございました。
- 今年度から広報がなくなりましたが、先生の紹介の冊子を作成して頂きありがとうございました。子供達もとても興味深く読んでいました。

温かいお言葉ありがとうございます。よい取組については、今後も継続していくとともにさらに、三笠小学校がよくなるよう努めてまいります。

改善を希望することについての回答

パソコン・教科書類の持ち帰りについて

Chromebookは市から貸与されており、市内統一で持ち帰るよう指導されています。家庭学習等でもどんどん活用したり学習に役立てたりしながら、子供たちには鉛筆やノートなどの文房具のようにPCを有効に使いこなせるようになってほしいということもあります。また、そのような力がこれからの社会を生き抜く子供たちに求められるとともに不可欠な力となっています。学年により、連絡帳としても活用していますので持ち帰りをお願いしています。市にも要望していますが、教室は施設できない、充電設備がないなどの防犯上や設備上の問題もあります。

教科書の持ち帰りについては学校でも検討し、宿題で使わないものは置いてよい等、各学年で指導をしています。登校が再開し、各学級でも再度指導します。また、時間割を毎日揃えずに必要な教科書類が入っていて重くなっているケースもあります。そちらもご確認お願いします。

chromebookのケースについて

お配りした簡易的なケースは市で市内児童生徒に一括購入したもので、後は個人で購入していただくこととなります。配付されたビニールケース以外に、防水のものや手作りの袋等、それぞれ工夫して持参している児童も多いです。防水ではありませんが100均のケースも使いやすいようです。ご参考にしてみてください。

学期末の道具類の持ち帰り期間について

1～2週間程度の期間を設けるなど、今後気を付けていきます。

低学年の傘の使用について

これまで、荷物を持ちながら傘をさすなどの危険性から、低学年はカッパを使用してきましたが、見直しをし、10月からカッパと傘を選んで使用してよいこととします。学年だよりでもお知らせいたします。

授業や指導、学級経営について

配慮が足りないことについては申し訳ございませんでした。今後は学年で声を掛け合いながら気を付けていきたいと思えます。また、研修を重ね、興味・関心をもって取り組める楽しい授業づくり等、授業の質の向上に努めてまいります。指導については、個別に指導できることは個別に言い聞かせるなど、全体と個別の指導効果を考慮したり、子供たちのよいところを言葉にし、頑張りを支えられるようにしていきます。温かく楽しい学級の雰囲気づくりに努めていきたいと思えます。「学校に行きたくない」など心配なことがありましたら、ご遠慮なく担任や学校にご相談いただけますようお願いいたします。

chromebook使用に伴う書字力の低下について

字を書く習慣は、授業の中でノート指導などで記述についての学習を並行して実施しています。情報化社会や、中・高・大・就業等への接続の観点からもchromebookの利用についてご理解をお願いいたします。

宿題の出し方について

宿題については、各学年で検討しながら決めています。学習内容によっては、定着度が以降の学習の理解度を左右する場合があります。子供にとっては覚えなくてはならないことも多いかもしれませんが、負担過重にならないよう気を付けていきます。体調が悪い等で宿題ができない日は、連絡帳等で担任にお知らせいただけるとありがたいです。宿題のプリント等に関してご負担を感じる場合には、担任にご連絡いただければ個別に相談に応じます。また、習っていないところを誤って出さないよう、今後気を付けていきます。万が一、習っていないところが出た場合には、やらなくて構いません。申し訳ございませんでした。

登下校の見守り・安全について

立哨当番等のご協力ありがとうございます。現在、登校時にタイヤセンター交差点と三笠小前横断歩道で教職員による立哨指導を行っています。また、見守り隊やボランティアの方がご厚意で子供たちの安全を見守ってくださっています。朝のまちづくりセンターの駐車場の立哨については、昨年度までは当番ではなく学校職員が自主的に立哨をしていました。今年度は教職員数が減り人手が足りず、雨天時はまちづくりセンター駐車場、その他の日はひばり地区を中心に立哨を行っています。2学期からまちづくりセンター駐車場を多めに見回るようにいたします。また、送迎の車の出入りが多いと危険ですので、できる限り徒歩で通学し、車の出入りを減らしていただくことが安全のためには重要です。どうかご協力をお願いいたします。朝の立哨については、人手不足と、働き方改革の観点（教員の時間外勤務時間の短縮が課題となっています）、これ以上の勤務時間外で行っている立哨指導を増やすことは難しい現状です。登校班への付き添いや見守り等、保護者や地域の皆様のお力がどうしても必要です。ぜひご協力お願いできればと思います。

下校時の付き添いについては、昨年度までコースによって差があったため、同じくらいの距離に揃えています。担当人数がギリギリのため、出張や所用で人手が足りない時もあり、要望の強いコースについては代替え者を立てながら付き添っていますが、どうしてもできない日もあるのが現状です。見守り隊の方々もご協力くださっています。黄色コースは、踏切のところまで付き添い、幼稚園脇の細い道での安全が守れるようににしています。2学期以降、担当者を確認しながら安全に下校できるよう努めてまいります。しかし、登下校の見守りについては学校職員だけでは限りがあり、心配な場合は、保護者・祖父母などの家族の方に立哨や付き添い、途中までお迎え、「ながら見守り（子供たちが登下校する時間帯に庭仕事や幼稚園・保育園のお迎え・買い物等をしながらの見守り）」をしていただくなど、保護者や地域の目を増やしていくことが何よりも大切です。子供たち自身にも交通安全についての知識や技能、「自分の身は自分で守る」という危機意識をしっかりと身に付けさせていきたいと思います。交通安全教室を含め、下校前の声掛け、学級での具体的な指導など、今後も学校で安全指導を継続していきます。立哨・見守りについてはPTAにも相談していきたいと思います。お声掛けがあった際、または自主的にぜひご協力をお願いします。見守り隊の方々とも連携を図っていききたいと思います。

門の施錠について

正門は子供たちが登校後に閉め、通用門のみ開けています。北門は後から出勤する市の嘱託職員が出勤した後に閉めています。再度徹底できるように気を付けていきます。お車で来校の際には門の開閉にご協力をお願いします。施錠については、日中は車での来客、保護者の方の出入りがあるため施錠ができないため、朝夕に職員が解錠・施錠をしています。

1学級あたりの児童数を減らすことについて

学級の児童数は国の法律で学級編制基準が定められており、現在1年生は35人、2～6年生は40人となっています。それ以上にならないと学級数を増やすことができません（＝1学級の人数を減らせないということです）。昨年度までは全学年40人でしたが法律が改正され、今年度より1年生が35人となり、5年かけて全学年が35人以下になる見通しです。そのため、学校独自では少人数の学級を編制することはできないのですが、鹿嶋市ではアシスタントティーチャー、チームティーチング講師、ALT、ICT講師などを導入し、各活動や授業で教員と一緒に指導補助を行っています。一人一人に目が向けられるよう、教職員みんなで努めていきます。

個人面談、相談等について

1学期は、感染状況から授業参観の折に懇談会が実施できませんでした。本来ならその場で子供たちの様子を参観いただいた上で、担任と顔を合わせたり、話や相談をしたりする機会となるはずでした。学校としても保護者の皆様と顔を合わせたいところですが、集まりをもつことが困難な状況ですので、個別の対応をしております。ご理解いただけますようお願いいたします。また、個別面談の時期については、新学年での学習・生活面の成果や課題等についてを保護者の方にお伝えするために、それらがはっきりとしてくる2時期に設定をしています。また、1学期はGWや行事等との関連から授業時間の確保の面で難しいことなどもあります。お子様のことで聞きたいことや心配な事、相談等がありましたら、個別に対応できますのでご遠慮なく連絡くださいますようお願いいたします。

オンライン学習、Chromebookでの連絡等について

オンラインで子供たちとつながることは、今年度の夏休みはオンライン授業の準備等で実施はしませんでした。夏休み中に子供たちの健康状況や様子を把握するためにはよい試みだと思いますので、来年度実施を検討していきたいとします。日頃のオンライン授業については、通常時は対面での授業が前提となります。chromebookは授業の中で調べ学習やまとめ、意見交換、外部講師による遠隔授業など、様々な場面で活用していきます。今回設備や教員側の準備も整ってきましたので、非常事態時にはこれからもオンライン授業を積極的に活用するようになると思います。

保護者からの連絡については、今までどおり連絡帳を利用していただければと思います。chromebookは学校からの一斉配信には適していますが、子供たちが学習に使う様々な情報が入っているため担任がいただいた連絡に気が付かない恐れがある、子供たちが使うものなので内容によっては保護者とのやりとりには適さないことなどがあります。以上のことから、連絡帳での確実なやりとりをお願いいたします。また、リーバーの連絡機能も利用できますのでご活用ください。学校からの大事な内容については、引き続きメール配信やプリントを活用してお知らせいたします。

スマホからの確認については、お子様のアカウントでログインすればスマホでも確認できますのでお試しください。

習字と体育の時間割について

時間割を変更できる時は考慮していきたいと思いますが、時間割は運動場や体育館、特別教室、他学級・他学年の活動等、様々なことが関連しており、なかなか変更できない場合もあります。黒っぽい衣服を羽織ったり、習字の日用の体操着を決めておいたり、エプロン等を付けてやったりしている児童もいます。ご検討いただければと思います。

学校ホームページの公開について

ホームページを楽しみに閲覧いただきありがとうございます。学校の様子を保護者や地域の皆様にご覧いただき学校教育に関心をお寄せいただく目的でも、学校ホームページは重要な役割を果たしています。今後も子供たちの活動や学校教育の様子などの情報発信に努めてまいります。今後ともご閲覧をお願いいたします。学年のばらつきについては、解消できるよう努力します。

コロナ対策で欠席や早退をする場合の学習について

学習の遅れが出ないように、課題を出したり登校した際に対応したりしていきます。今回の臨時休校期間に子供たちもオンライン学習に慣れてきましたので、状況によってはオンラインで学習等も考えています。担任にご相談ください。

新型コロナウイルス感染者がでた場合のお知らせについて

市内でも児童生徒の感染が広まっている状況です。学校では、陽性者が出た場合は保健所の指示に従い必要な措置をとっていきます。学級・学年・学校閉鎖や複数の児童が濃厚接触者に特定され検査が必要になった場合にはその旨をお知らせしますが、特に心配の必要がない場合は、個人情報の観点から各家庭に（安心して登校できる等の内容も含め）感染者の有無についての連絡はいたしません。学級・学年・学校閉鎖等が解除された場合には、安心して登校できる旨をお知らせいたします。感染した児童が回復した際にスムーズに学校生活を取り戻せるようにするためでもありますので、ご理解いただけますようお願いいたします。

オリンピックのサッカー観戦について

一生に一度あるかないかのオリンピック観戦のチャンスを、ぜひ鹿嶋市の子供たちに体験してもらいたい！という思いで、学校観戦プログラムを市で計画してくださいました。座席の間隔、他の観客と動線を交えない（当日、一般観客は無しとなりました）、会場やバス移動の際の消毒等、多岐にわたる工夫を市の職員の方々が考慮し、尽力くださいました。その中で、様々なお考えがある状況でしたので参加についてはあくまでもご家庭の判断というかたちとなりました。チケットの関係から参加の有無を確実に把握しなくてはならず、参加有無の配付物は市で作成し、市内小中学校を通して配付しました。ご理解をお願いします。

スポーツデーについて

現在、学校行事については感染状況をみながらの実施となっています。学校の規模（児童数）にもよって実施方法を考慮しなければならぬ状況です。表現運動（ダンス等）は保護者の皆様がたいへん楽しみにしている種目の一つだと思います。しかし、長時間の練習が必要になり、感染状況によって練習時間を十分に確保することが困難なこと、また三笠小学校は児童数が多いこともあり、集まって練習することが難しい状況などがあります。学校行事は、子供たちの生活に変化と潤いをもたせるためにも重要な教育活動の一つですので、遠足等の行事と合わせ、今の状況の中でできる限りの対応をしていき、子供たちの思い出に残るものにしていきたいと思っています。今年度は、低学年は「パプリカ」、中学年は「夜に駆ける」、高学年は「ソーラン節」を準備運動として行う予定です。また、6年生のみ親子種目を予定しています。何卒、ご理解くださいますようお願いいたします。

児童の挨拶について

「明るく元気に挨拶をする子」の育成は、三笠小の目指すところでもあります。立哨での声掛け、学級指導などで繰り返し呼びかけをしています。また、委員会や学年の活動、民生委員・青少年相談員・見守り隊・PTAの方々によるあいさつ運動も実施しています。挨拶については、ご家庭や地域の協力が不可欠な部分です。子供たちに呼びかけていただくとともに、大人からも子供たちに元気な挨拶をして交流を図るなど、挨拶あふれる三笠地区にしたいですね。元気に挨拶できる子もいますので、褒めていくことでグッドモデルとなるようにしていきたいと思っています。また、コロナ禍でもありますので、元気な挨拶にこだわらず、心のこもった挨拶ができるよう呼びかけていきたいと思っています。学校でも継続して指導してまいります。

回答欄「分からない」の設定、（学校での様子なので）答えづらい質問について

昨年度からの新型コロナウイルス感染症の影響で、保護者の皆様に学校へ足を運んでいただく機会が減り、学校の様子がなかなか分かりにくい現状もあるかと思います。学校アンケートは学校評価につながっており、今後の学校経営や地域とともにある学校づくりのための大切なものです。そのため、保護者や地域の方々に学校への関心をお寄せいただき、学校の様子や課題を知っていただくことが現在の学校教育の大きな課題となっています。本校でもHPや各種たより、コミュニティ・スクール等の活用を通じて、学校の様子を皆様にお伝えできるよう努力してまいります。また、質問内容については「8」以降は市で共通されている質問ですので、質問内容や仕方等を市に要望してまいります。

面談の時期について

昨年度より、教職員の働き方改革の観点や、所見と面談の内容が重複するなどのことから、2学期のみ子供たちの様子を面談で直接お話させていただくこととしました。所見欄は小さいのですが各担任がたいへん時間を割いて書いており、働き方改革を進める上でもメスを入れなくてはならないところです。また、面談で直接お話した方が子供たちの様子をより伝えられます。ご理解いただけますようお願いいたします。1学期、3学期については、これまでどおり子供たちの成長の様子を所見欄に記入させていただきます。4月の自宅確認の際にも、ご質問やご相談があれば電話や面談を行う旨をご案内しています。

体育の服装について

三笠小では、昨年度途中から体操着の下にアンダーシャツやスパッツを着用してもよいとしています。今年度も6月に確認のメールを配信しておりますのでご確認いただければと思います。寒い日や毛虫の予防等、ご家庭で判断していただければと思います。

体操服のリサイクルについて

卒業やサイズアウトした体操服については保健室で活用させていただいています。今後、他の方に譲る運動も前向きにしているところです。現在も体操服が少し集まっています。方法等を検討し、お声掛けしたいと思います。

PTA広報誌について

昨年度、業務の見直しや保護者の負担軽減等でPTA広報誌を廃止いたしました。今年度は、コロナ禍で4月のPTA総会や懇談会を実施できず教職員を紹介する場がないため、職員紹介の記事を教職員が作成しました。3学期の卒業メッセージについては、広報誌の発行がないため全PTA会員には配付できませんが、卒業アルバムの中で似たような記事を掲載する予定です。